

特集 みんなで協力、ごみを資源に!!

クリーンセンター 昭和52年建設
47歳10か月 全国で11番目に古い施設!!

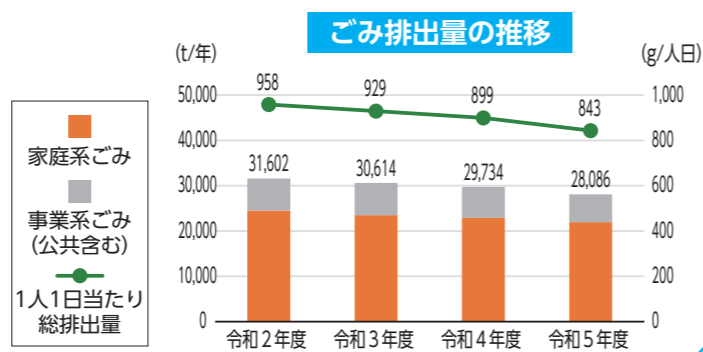


クリーンセンターは、点検・修繕等を実施しながら、安心・安全に配慮し安定的に稼働していますが、施設の老朽化や社会情勢による人件費・物価高騰等により、施設の維持管理費は、5年前と比較し約1.5倍の額に膨らんでいます。この施設を維持していくためには、皆様のご協力が重要です。**ごみは出し方一つで、資源になります!** ぜひ、この特集を機会にごみの出し方についての意識を変えていきましょう!

ごみの量 (令和5年度実績)

市全体の総排出量 **28,086t**
市民1人1日当たり **843g**

近年、ごみの減量とリサイクル意識の向上により、ごみの排出量は減少傾向で推移しています。

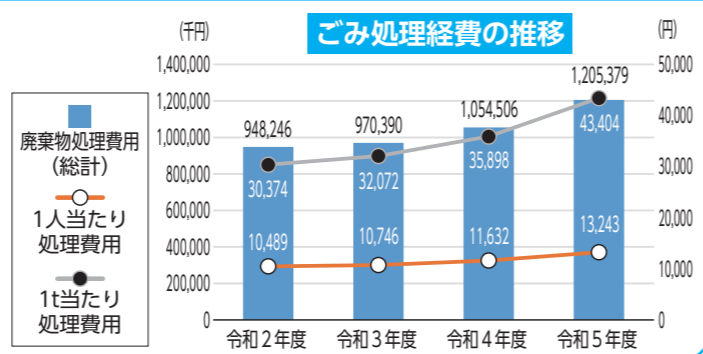


こんなに費用がかかります (令和5年度実績)

廃棄物処理費用総額 **約12億円/年**
年間市民1人当たり **13,243円**

年々、施設の老朽化に加え、社会情勢の変化や物価高騰等により処理費用が増加傾向となっています。

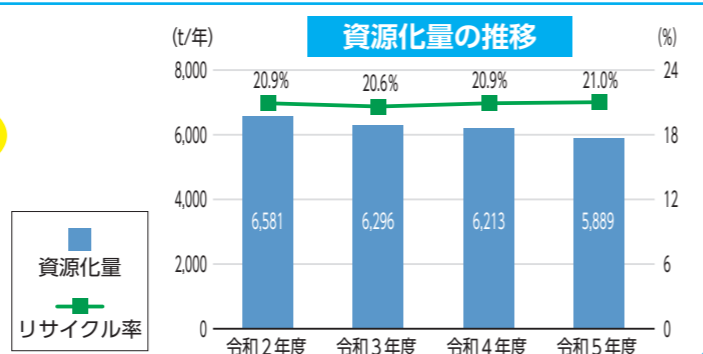
「廃棄物処理費用総額」とは、ごみの収集運搬、クリーンセンターでの焼却及び施設管理、西本宿不燃物等埋立地での不燃物等処理及び施設管理、リサイクル処理、最終処分(埋立費)のほか、職員人件費等を含みます。



大切な資源が…リサイクル率 (令和5年度実績)

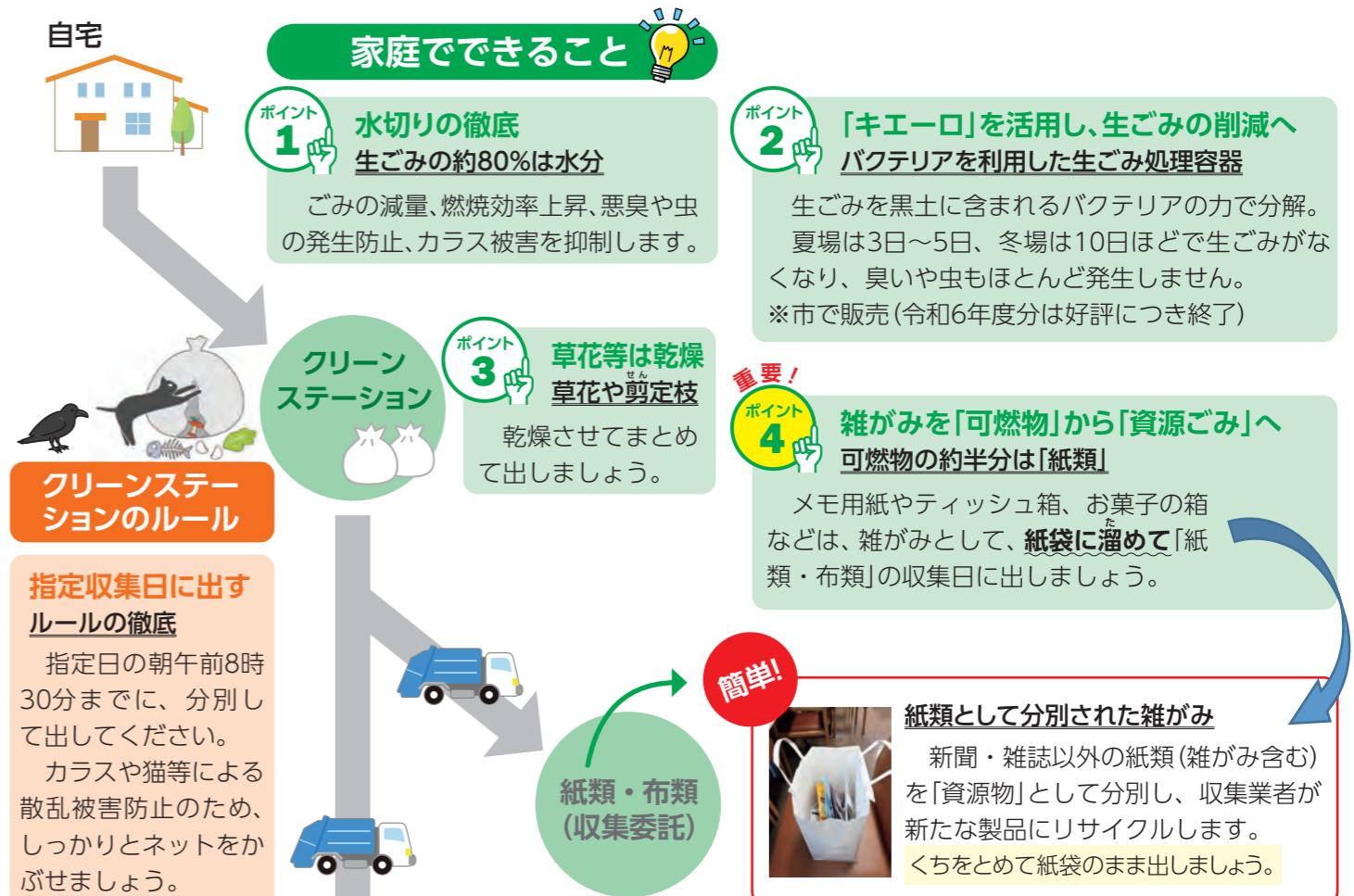
資源化量 **5,889t**
リサイクル率 **21.0%** (目標 令和12年 22.6%)

本市では、主にプラスチック類、びん・かん、ペットボトル、紙類・布類のほか、廃乾電池や焼却灰などの資源化に取り組んでいます。また、自治会やPTAなどが実施する紙類・布類の資源回収事業に補助金を交付しています。



【ごみ削減のポイント】 可燃物編

クリーンステーションに出された可燃物(燃えるごみ)は、ごみ収集車で集め、クリーンセンターへ運び、焼却処理しています。施設が古いため市民の皆さんの適正な分別により、焼却量を減らしていくことが施設の延命につながります。



生ごみ処理容器キエーロ利用者の宮下さんへインタビュー

キエーロの感想 今までコンポストを使っていましたが、臭いが気になりました。キエーロは臭わず、虫も湧かないのでとても便利です。また、可燃物の収集は週2回ですが、いつでも生ごみが処理できるので、家に生ごみを溜めないで済むところも良いところです。

ごみに対する意識は キエーロを使ってから、可燃物に出すごみの量が3分の1程度減り、こんなに減るのだと実感! 雑がみの分別なども意識するようになり、「ごみに対する意識」が高くなったと思います。

キエーロ利用者 宮下純子さん

キエーロの中の土を混ぜている様子

西本宿不燃物等埋立地

昭和54年から埋め立てを開始しました。写真は、施設内にある不燃物や資源物の分別、ペットボトルの梱包等の中間処理を行う施設です。



【ごみ削減のポイント】 資源物編(プラスチック類)

「汚れを落とす」このひと手間がとても大切です。食品残渣(残りかす)や生ごみ、土砂等の汚れがついたプラスチックはリサイクルできません。たった1人が汚れたままのプラスチックを出してしまうと、ほかの人がキレイにして出したプラスチックが汚染され、リサイクルが困難となり、焼却せざるを得なくなります。市民一人ひとりの意識がとても重要です。

自宅



家庭でできること



クリーンステーション
ルールの徹底

重要ポイント

水洗いや拭きとりの徹底
必ず水洗い(しっかり水気を切ってください)や拭きとりをしてから出してください(溜めた水を使用すると更にgood!)

参考例

トレー系



水洗い・水気を切る



チューブ系



- ①少し水を入れる
- ②口を手でふさいで、シャカシャカ



こんなにキレイに!



クリーンセンター



焼却処理

(リサイクルが困難なもの)



東松山市のもの

リサイクルが困難なもの(汚れの付着)

簡単!

プラスチック類のごみの出し方は、(公財)日本容器包装リサイクル協会HPをご覧ください。



協会HP

プラスチック類処理の現状

収集されたプラスチック類は、西本宿不燃物等埋立地に運ばれ、市外の中間処理施設(委託先)で選別処理を行い、(公財)日本容器包装リサイクル協会を通じ、県外の再商品化事業者により、新たなプラスチックの原料や製品に生まれ変わります。

中間処理施設では、汚れの付着や長さ・大きさにより、リサイクルが困難なものやペットボトル・リチウムイオン電池・ガスライターなどの異物を作業員の手で取り除いていますが、特にプラスチック類は、汚れがひどく、リサイクルに支障が生じています。

汚れたプラスチック類は、西本宿不燃物等埋立地に戻されたあと、クリーンセンターへ運び、焼却処理しているのが現状です。適正なごみの出し方により、経費を削減しリサイクル率を向上させるためには、市民一人ひとりの協力が非常に大切です。

中間処理施設(市外)

- 破袋機でゴミ袋を破る
- 作業員の手による選別
- 圧縮、梱包、保管



再商品化施設(県外)

リサイクルされるプラスチック類の品質検査



リサイクルできないものを取り除く



押し固めてかたまりにして保管する

是正指導

是正指導を受けています

本市のプラスチック類は、汚れがひどいため、このまま改善できない場合は、リサイクルが困難なものとして、(公財)日本容器包装リサイクル協会を通じたプラスチック類のリサイクルができなくなる恐れがあります。

市民一人ひとりの協力が不可欠ですので、次の「重要なお願い」を必ず守ってください。



(公財)日本容器包装リサイクル協会による品質検査の状況(東松山市のもの)

重要なお願い

- ◆水洗いや拭きとりの徹底
 - ・汚れが付着したものは、水洗いやティッシュなどで拭きとる。
- ◆袋は二重にしない
 - ・レジ袋などの小袋に入れたものを、さらにゴミ袋に入れない。⇒機械で袋が破れず、選別ができません。
- ◆50cm未満の大きさにして出す
 - ・長いもの、大きいものは、50cm未満に切ってまとめる。
- ◆適正な分別(プラスチック類として出さない)
 - 例) ペットボトル、リチウムイオン電池、ガスライターなど
 - ・小型充電式電池が内蔵されたプラスチック製品(おもちゃ等)や小型家電製品

POINT

リサイクルするための秘訣

リサイクルをするのに一番大切なことは、**ごみをきちんと分ける**ことです。「分ければ資源、混ぜればごみ」という言葉があるとおり、プラスチックは「プラスチック類の日」、ペットボトルや空き缶は「びん・かん、ペットボトルの日」というように、必ず分けて出しましょう。例えば、ペットボトルや空き缶の中にたばこの吸い殻やお菓子の包み紙、噛んだ後のガムを入れるのは絶対にやめてください。

正しく分別することで、家庭から出るごみが有効にリサイクルできるようになります。分別に迷ったら市HPで検索を!



資源とごみの分け方・収集日検索 市HP

リサイクルされたもの



プラスチック原料「ペレット」

プラスチック製品「パレット」

ごみ収集車の 火災事故発生

昨年だけで
2件



～お願い(小型充電式電池)～

小型充電式電池(内蔵製品を含む)は、「プラスチック類」ではありません。**必ず透明袋**に入れて「不燃物の日」に出してください。

小型充電式電池が「プラスチック類」として、間違っってクリーンステーションへ出すとごみ収集車への積込時やプラスチック類の処理施設において、強い力がかかり火災が発生することがあります。



ごみ収集車の火災状況(令和6年4月8日の状況)

小型充電式電池や内蔵製品

(リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池)

- ・デジタルカメラ
- ・電子(加熱式)たばこ
- ・電気カミソリ
- ・ハンディファン
- ・電動歯ブラシ
- ・ゲーム機 など



～お願い(スプレー缶など)～

使い切る!!!

スプレー缶やカセットボンベ、ガスライターは、必ず中身を使い切ってから、**透明袋**に入れて「不燃物の日」に出してください。

ごみ収集車に圧縮して積込時に割れ、可燃性ガスが漏れ出し、火災につながる可能性があります。

カラスの被害を防ぎましょう!

近年、カラスによるごみ散乱被害が増加しています。

ごみが散乱するとまちの景観や公衆衛生上で大きな問題となりますので、一人ひとりがごみ出しのマナーや分別を守ることが大切です。



カラス対策の良い例

(有効対策)

- ・しっかりと散乱防止ネットを覆いかぶせる
- ・夜中や朝の早い時間に出さない
- ・生ごみを新聞紙に包む
- ・引きずり防止のため、クリーンステーションに段差(低い柵)を設置する



カラス対策チラシ 市HP

「簡単!ごみの分別・出し方」の動画を作成しました

～皆さんに分かりやすいごみの出し方です～

ごみの出し方が簡単にわかる動画を作成しましたので、ご覧ください。



ごみの出し方が
分からない...



動画を見れば
簡単!



簡単!ごみの分別・
出し方動画 市HP

こんなごみの出し方していませんか?



新ごみ処理施設の検討

ごみ処理施設の老朽化のため、本年度から本格的に新ごみ処理施設について検討を開始しました。検討にあたっては、学識経験者や市民の代表者からなる新ごみ処理施設検討委員会を立ち上げ、新施設のあり方について議論しています。

本市から排出される廃棄物が将来にわたって安定的に処理できるよう検討を進めていきます。

特集に関する問合せ
廃棄物対策課

☎21-1401

☎23-7700



市HP